

2014 年

■-12 月 6 日（土）練習日誌

>> T.Sakai 12/15(Mon) 19:52[69]

19:00~21:00

神谷先生、石川先生による通常練習でした。

★初めに先日の「尾張旭市民音楽祭」での演奏の CD を聴きました。聴いた方々の評価も受け止めたい反面、課題の多い演奏との印象を受けました。

★男声は神谷先生による指導で 1 階の集会室で、女声は岩本さん～石川先生による指導で 2 階の研修室でおこないました。

先週に引き続き、男声は「初心のうた」5.泉のうた 2.自由さのため、の各パートの音取りを行いました。女声は、5.泉のうた の音取り練習でした。

音取りの難しいフレーズも多く、又、8 分の 6 拍子のリズムに乗ることが難しい曲ですね。練習日だけの練習では厳しいと思います。各自が自宅での復習・予習をしっかりと行っていく必要があると感じました。

休憩の後、男声、女声を合わせての練習でした。（練習記号 A～C までの前半）

●連絡事項

1.次の練習日 12 月 13 日（18:00～19:00）女声のヴォイトレがあります。

2.12 月 13 日の練習は中央公民館での練習です。

※またまた、記載が遅れてしまいました。申し訳ありません。（T 酒井）

■-12 月 13 日（土）練習日誌

>> B.Sakai 12/14(Sun) 15:23[68]

19:00~21:00 中央公民館 306 音楽室

神谷先生、石川先生による通常練習でした。

☆初心のうた :5 曲目「泉のうた」の音取り・階名での練習となりましたが 最後まで出来ました。

・リズム(6/8)にしっかりとって、飛び出し・遅れないようにとの注意がありましたので、歌詞つけの前にもう一度 リズムでの歌詞読みをお願いします

・転調や臨時記号も多く、音取りが難しい箇所がありますので、音源等を活用して自主練習をお願いします

・明るい曲調なので、ベースは軽く声を出すようにとの指導がありましたので きおつけましょう

☆定期演奏会のミサ曲について シューベルト/

ドボルザークに絞られてきましたが、竹の編成、曲の長さ・難しさ等 一長一短があり、神谷先生に最終選定をしていただくこととなりました

■-11 月 29 日（土）練習日誌

>> アルト ごとう 12/01(Mon) 22:12[67]

神谷先生は風邪でお休みでした。

19:00~21:00 通常練習

男声は石川先生、女声はじゅんこさん、ユキさんの指導で音取り練習をしました。

☆初心のうた・2自由さのため

☆初心のうた・5泉のうた

転調があり、臨時記号がたくさんありで、とても大変です。

音取りができれば、なるべく早く歌詞をつけて練習するようにしましょう。

ミサ曲はドヴォルザークの人数が多数でした。

■-11月22日(土) 練習日誌

>> そぷらのじゅんこ 11/29(Sat) 00:37[66]

すみません・・・また勘違いをしてました。次回だと思ってました。ごめんなさい。

★19:00～21:00

ひとみ先生はお休みで、神谷先生だけの通常練習でした。

そういえば、16日の尾張旭市民音楽祭当日のこともまだでしたね。わたしでいいのかな。

演奏後の両先生はとてにこやかでいらっしゃいました。特にひとみ先生は「すっごくよかった。」と何度もおっしゃってました。思ったより・・・ということかな。

で、22日の練習です。

発声練習後、シューベルト、グノー、ドヴォルザークの Kyrie を、さわりの部分だけ歌ってみました。

その後、どの曲がいいのか多数決をとったところ、予想していたシューベルトより、ドヴォルザークが多かったことや、グノーではまだアルトの出番が少なくてよくわからないとの意見があったため、もう1週間をおくことになりました。

●初心のうたの3. とむらいのあととは

●同じく1. 初心のうた

この2曲を思い出して歌いました。

先生が注意されることは、以前音取りをしていたときとかぶることが多かったです。やっぱり、難しかったところは相変わらず難しいんですね。でも、足踏みしないように、さっさと乗り越えて、戻らないようにしていきましょう!!!

＊ 練習前に拡大役員会がありました。

○ミサをどれにしたら良いか、皆さんにきいてみましょう、ということ。

○尾張旭市文化協会に加入する方向で進みましょう、ということ。

この2点について話し合い、練習後に皆さんに団長の方からお知らせしました。

＊ この先、初心のうたは、2 → 5の順で練習していきます。

■-11月9日(日) 練習日誌

>> T.Sakai 11/17(Mon) 14:18[65]

★19:00～21:00

神谷先生、石川先生による通常練習でした。

尾張旭市民音楽祭に向けて、特に暗譜への徹底が重要な練習でした。まだ完全に暗譜ができていない方も見受けられ、一部に音程に不安もある、少し心細い状態でした。しかし、全体としてのアンサンブルはかなりまとまってきたので、あと残された1週間で各自の課題を克服しましょう。次の練習日(15日)には、自信の持てる演奏になれば

と期待するものです。

練習曲（特にアカペラ曲を重点に練習が行われました）

☆砂山

☆故郷

☆村祭

☆おぼろ月夜

☆紅葉

特に、ブレスのタイミング（する/しない）、楽譜の音符の長さを十分に保つこと（2分音符など）など、又、歌詞のフレーズを言葉として表情豊かに歌うことなど、改めて注意がありました。

★21：00～21：40

石川先生による暗譜の徹底をはかる為の特別練習がありました。

（お詫び）

練習日誌の記載を忘れていました。日付が前後してしまいましたことをお詫びします。（T）酒井

■・■・11月15日（土）練習日誌

>> B.Sakai 11/16(Sun) 00:16[64]

19：00～21：30

明日の尾張旭市民音楽祭にむけ、神谷先生・石川先生によるご指導をいただきました

◇演奏曲目の「Furusato」5曲について、本番前ですが

細かい点で指導がありましたので、明日はシッカリ

指導内容を踏まえ、暗譜を頑張った成果がでた

良い演奏となるよう頑張りましょう

☆砂山

ベースはまだ音程に不安箇所はありますが

レガートに丁寧に歌いましょう

☆故郷

ハミングの出だし・終わりを楽譜でよく確認しておきましょう

また、ベースは高音部で飛び出ないように、バランスをとって歌いましょう

☆村祭り

唯一、テンポの速い曲なので、言葉をハッキリさせリズムにのって明るく歌いましょう

☆おぼろ月夜・紅葉は2回目ですので、レベルアップができるといいと思います

■・11月1日（土）練習日誌

>> アルト ごとう 11/05(Wed) 22:03[63]

18：00～19：00

毛利和男先生による男声を対象にしたボイストレーニング。

19：00～21：00

神谷先生、石川先生による通常練習。

☆砂山

ベースは控えめに、あわてない。
メゾはもう少し主張して。
最後は色をかえるように歌う。

☆故郷

最初のハミングでは、2拍目の2分音符をおさない。
最後の68小節からは明るく。

☆村祭

☆おぼろ月夜

おぼろげな感じをたいせつにするために、息つきには気をつける。

「村祭」意外は静かな曲です。さわがしくならないように歌いたいです。
21:00～石川先生のご指導で暗譜にむけての練習をしました。
瀬戸合唱フェスティバルの直後に11月の市民音楽祭は全曲を暗譜でと聞き、「無理！」と即座に思ったのですが、
なんとか歌えそうになってきました。
あと2回の練習でカンペキになるように、頑張りましょう。

■・10月25日(土)練習日誌

>> そふらのじゅんこ 11/03(Mon) 20:21[62]

ごめんなさい。私の当番だったのですね・・・すっかりわすれてました・・・

19:00～21:30

神谷先生が引き続きお休みだったため、ひとみ先生にご指導いただきました。

「砂山」「故郷」「村祭り」の暗譜のための練習でした。
フレーズごとに少しづつ暗譜して歌ったり、人数を分けて交互に楽譜を見たり見なかったりして歌ったり、と、
その曲のできばえに即したいろいろな方法をひとみ先生が実行してくださいました。

ひとみ先生様様様って感じです。

■・10月18日(土)練習日誌

>> B.Sakai 10/19(Sun) 16:19[61]

19:00～21:30 中央公民館

神谷先生がお休みで、ゾラ/波多野さんの発声練習から
石川先生による"故郷"の暗譜にむけたご指導をいただきました。

★村祭り

主旋律でないサポートについて、ところどころ音が
怪しいところがあり 丁寧に確認していただき
ましたので、暗譜とともにしっかり覚えて
いきましよう。また、テンポの速い曲なので
言葉もハッキリ リズムにのって歌えるようにしましよう。

★砂山

メロディーパートのベースで音程確認に大変時間が
かかってしまいました(むこうは・・・)

出だしもふくめて不安定ですので、パート内で
よく聞きあって合わせていきましょう
石川先生から各パートの音・動きをよく聴きながら
歌うようにとの指導がありました。

*故郷ができませんでしたが、まだまだ音程に
不安がありますので自主練習をお願いします。

◇尾張旭市民音楽祭へ各人2名の動員をしてほしいと
依頼がありましたのでよろしくお願いします

■-10月11日(土) 練習日誌

>> T.Sakai 10/13(Mon) 09:34[60]

19:00~21:00

神谷先生による通常練習でした。石川先生はご都合でお休みでした。

★砂山

メロディーパートのベース、アルトを重点的に歌い方、表現の仕方など指導がありました。スラーのかかっている部分など、滑らかにつなげ、ごつごつした歌い方にならないように注意しましょう。歌詞を言葉として歌いこむようにしたいですね。

ベースのメロディー部分(むこうは、・・・他3か所、)

音程(階名:ドドレソミ)まだ、全体として不安定ですね。しっかりと直したいところです。

ソプラノの2声によるオブリガート、メロディーをよく聴きながら邪魔をしないように歌いましょう。

★故郷

メロディー以外は階名で、音程を確認しての全体合わせでおこないました。各パートの音程の確認の後、歌詞を付けて歌いました。

各パートの歌いだしはしっかり、はっきりと歌いましょう。言葉をメロディーに乗せてフレーズを表情豊かに歌いましょう。

テノールに対する注意点:3番の歌詞歌いだしの部分、

(こころざしを、上昇音程・・・を)飛び出さないように、他のパートとバランスをとって弱く歌うように。

メロディー以外のオブリガートを歌うパートはよく聴き合ってハーモニーを感じて歌うようにしましょう。

◆21:00~21:30

伊藤技術委員長の指導で暗譜練習を行いました。尾張旭市民音楽祭まで継続しての自主練習の始まりです。

まだ、暗譜はできていない「砂山」「故郷」ですが、次週には暗譜で全員が望めるようになることを強く期待しています。「村祭」も含めてですが・・・。

◎連絡事項

- 1.次週の練習は中央公民館です。間違いのないようにしてください。
- 2.広報楽々10月号を発行しました。
- 3.本日、ベースパートに新入団員です。金 三根さん。 以上

■-10月4日(土曜日) 練習日誌

>> アルト ごとう 10/08(Wed) 22:34[59]

18:00~19:00

毛利美奈子先生によるボイストレーニング

新しい方が多いので、体をほぐす体操をゆっくりしていただきました。

・息を吐くトレーニングをしました。

息つぎのたびにめいっぱい吸うのではなく、加減をすることが大切なのだそうです。

19:00～21:00

神谷先生、石川先生にご指導いただきました。

「砂山」「村祭」の2曲を歌詞をつけて練習しました。
ところどころ音があやしいところがあります。
正しい音を確認しておきたいです。

先生の「これなら、大丈夫」との言葉を信じて、練習していきましょう。

新しいお仲間が増えました。
ベース 丹羽勝久さん、ソプラノ 中嶋道代さんです。
お二人とも、以前 旭混声にみえた方です。

連絡事項

- ・ 次回のボイトレは、11月1日 18時から。
男声対象です。
- ・ 11月16日の市民音楽祭に暗譜でのぞむための練習をします。練習後の30分程度です。是非ご参加ください。
- ・ 演奏会のDVDを申し込まれる方、申し込み用紙に記入をお願いします。

■9月27日（土）練習日誌

>> ソプラノ じゅんこ 09/28(Sun) 23:25[58]

19:00～

21日の瀬戸合唱フェスティバル本番の録音を聴きました。みなさんいろいろ思うところはあるでしょう。
私個人の思うところは、前日のリハーサルと本番を聞き比べると、ソプラノに関していえば、前日の方がきれいに聞こえました（個人で録音したものです）。当日ががんばりすぎて乱暴になったのかも・・・

当日演奏後の先生方のご講評は「まあ、よかったかな」という感じでしょうか。でも、「これを良しとせず、さらなるステップアップを！」とも。これが旭混声の進化する力ですよね。

～20:00

上は女声でひとみ先生、下は男声で神谷先生・・・と分かれて、「故郷」「村祭り」の音取りをしました。

休憩～21:00

「故郷」「村祭り」の合わせをしました。
主旋律でないパートは大変だと思います。がんばりましょう。主旋律はどなたもよくご存知、ということは、ちょっと外れれば丸わかりです。覚える手間がない分、美しく歌う努力を早くから始めましょう。

練習後次回の演奏会の3曲目をみんなで考えてみようということで、広報「楽楽」掲載の順番で少しずつ聞いてみました。

今のところシューベルトのミサ曲の希望が多かったです。

次回から正式入団ということで、ご夫婦がきてくださいました（ごめんなさい。お名前を聞きそびれました。正式入団の時にお知らせします）。

次回10月4日18:00～ヴォイストレーニングがあります。

■-■-9月20日(土)練習日誌

>> B.Sakai 09/21(Sun) 08:37[57]

19:00~21:00 瀬戸文化ホール

瀬戸合唱フェスティバル前日のリハーサル

<曲目>

- ・おぼろ月夜
- ・紅葉
- ・心に花を咲かせよう

本番前日となりましたが、いずれの曲も
テンポ・どこまで音を伸ばすのか・強弱について
神谷先生より 細かい指導がありました

特に、心に花を咲かせようは定期演奏会からあまり
歌い込んでいませんので 再度 楽譜をよく確認し
表現豊かに歌えるようにしたいと思います

◎11月16日(日)尾張旭市民音楽祭では"故郷"全曲を
歌うとのことで、T.Sakai さんが音取りの音源を作成してくれましたので残り3曲も暗譜でしっかり歌えるよう頑
張りましょう!

■-9月13日(土)練習日誌

>> T.Sakai 09/20(Sat) 21:40[56]

19:00~21:00

神谷先生、石川先生による通常練習でした。

瀬戸合唱フェスティバルを1週間後に控えての大事な一日でした。

- ★おぼろ月夜
- ★紅葉
- ★心に花を咲かせよう

いずれの曲も、言葉の意味と、その表現に細心の注意を払って歌うよう指示がありました。
歌う私たちの思い、気持ちが会場に響き渡ることを願わずにはられません。
各人が悔いのないように、自信を持って歌えるように努力しましょう。

ステージ衣装について、衣装係から改めて確認の連絡がありました。

◎広報楽楽9月号が発行されました。

■-9月6日(土)練習日誌

>> ソプラノ じゅんこ 09/11(Thu) 22:34[55]

18:00~19:00

神谷先生を交えて拡大役員会。

第10回演奏会にむけて話し合いました。

チルコットの故郷と、信長貴富の初心のうたは決定で、もう一つは宗教曲のステージを・・・という線でいこう
か、となりました。

19:00~21:00

神谷先生、石川先生のご指導による通常練習。

☆故郷

音取りほぼ完了です。

☆おぼろ月夜

☆紅葉

どちらも、皆さんずいぶん歌の暗譜はできているようです。

どこまで音を伸ばすのか、強弱はどうか、確認しておくとういことだと思います。それらを知ったが上で神谷先生の指揮に従うと、きつともっともっと表情豊かになるのではないかと思います。

第10回演奏会の宗教曲については、合瀬さんからの連絡にもあったように、皆さんにもご意向を伺うこともあると思います。

私たち自身だけでなく、お客さんの心にも残る演奏会にしたいですね。

11月16日（日）の尾張旭市民音楽祭には、ボブ チルコットの故郷全曲で臨みたいとのことです。がんばりましょう！！

■・8月31日(日) 練習日誌

>> アルト ごとう 09/02(Tue) 23:59[54]

19:00～21:00

神谷先生、石川先生のご指導による通常練習。

☆故郷

音取りをしました。

今までに、歌ってきた曲とは全く違い新鮮ではありますが、難しいです。

☆紅葉

言葉をつなげて、表情豊かに歌いましょう。

☆おぼろ月夜

「紅葉」「おぼろ月夜」は合唱フェスティバルでは楽譜を持たないので、もう楽譜を離して歌うように心がけましょう。

連絡事項

- ・第9回演奏会の会計報告と渉外活動報告がありました。
- ・平成26年度の役割分担表、新しい団員名簿ができました。
- ・次回9月6日（土）18時より拡大役員委員会があります。次の演奏会に向けて、先生にも出席していただきます。

今まで、県合唱連盟の仕事などをしていただいた、アルトの前川久美子さんが退団されます。突然のことで、驚きました。またきつと歌いに来てくださいと信じています。

■・8月23日（土）練習日誌

>> アルト ごとう 09/02(Tue) 16:21[53]

18:00～19:00

毛利先生によるボイストレーニング

19:00～21:00

神谷先生、石川先生にご指導いただきました。

☆おぼろ月夜

- ・43小節 2拍目はテヌートで。

☆紅葉

全体にレガートで歌う。

「てるやまもみじ」は「てる」「やまもみじ」だそうです。
ずっと、「照る山」「もみじ」だと思っていました。

☆心に花を咲かせよう

久しぶりでした。瀬戸合唱フェスティバルで歌うので忘れないようにしましょう。

連絡事項

見学の方、アルト 藤田圭子さんです。

9月から正式入団されます。

■8月9日（土）練習日誌

>> ベース はやし 08/10(Sun) 10:18[52]

18:00～19:00

◎演奏会実行委員会、反省会が開催されました。

実行委員長、技術委員長と各PM、文書担当（広報担当）、衣装担当のそれぞれの反省。（渉外担当は別途）
打上げ会の会計報告がペーパーで報告されました。
これは、別途印刷して全員に配布されます。

◎広報「楽楽」NO.210号が発行されました。29名の演奏会感想文が掲載されています。皆さんじっくり読んでください。

◎19:00～20:00

神谷先生による練習。（石川先生はご欠席）

神谷先生も用事があって1時間で帰られました。

何時ものとおおり、発生練習から入り、○紅葉、○おぼろ月夜 の音取りをし、2回ほど通しました。

20:00～21:00

男声は2階で合瀬団長の指導で引き続き音取りをし、
女声は1階で伊藤技術委員長の指導で練習。

20:40から全員で合わせて練習をしました。

この曲は9/21の瀬戸合唱フェスで歌う曲です。
期間が短いのでしっかりと練習が必要です。
頑張りましょう。

◎新しい楽譜「日本の歌よる5つの合唱曲」が交付され、1冊1,100円で購入しました。

◎連絡事項

1. 来週16日はお休みです。
2. 23日は18:00から全員対象のボイトレがあります。全員参加してください。

◎見学者あり

ソプラノ 小島 薫さん（近くの方で入団に脈あり）

テナー 藤 淳磨さん（B松本さん T酒井さんのお知り合いの方。ただし、遠方（名古屋市緑区）で、どうなることか。テナーとしては是非ともということです。

※これまでベースは林が担当してきましたが、次回から
新パートリーダーの酒井敦智さんが担当されます。よろしくお願いします。

■8月2日(土) 練習日誌

>> T.Sakai 08/03(Sun) 11:15[51]

19:00~20:30

神谷先生、石川先生による通常練習

★藤四郎讃歌 (作詞: 加藤洪太郎 作曲: 西田由美子)

9月21日(日)瀬戸合唱フェスティバルでの全員合唱曲を練習しました。メロディー(ユニゾン)のみです。歌詞が音符につけてあるものの理解しづらい面がありました。以下にその詩を作詞者のコメントを付けて記しておきます。

【1番】

波濤渡り学びし 宋の国は陶の技
帰り来たって 求めるは
想い生かす 陶の土

【2番】

ここは山や川ある 出ずる土は世界一
来たれ藤四郎 住もうぞ瀬戸で
願い生かす このまち

【3番】

ともに暮らそ藤四郎 ともに栄えん陶の地
八百年生きる せともので
想い創る 瀬戸の地

◎1番は、進取の気概で海を渡った藤四郎の心を、2番は帰朝した彼を瀬戸で暮らそうと呼びかける地元の心を、そして3番は両者ともども瀬戸で栄えようという心を、それぞれ詩に著しました。

★おぼろ月夜

特にメロディーパートの歌い方を中心に練習しました。音取りは易しいだけに、この曲の持つ情感を以下に歌い上げるかが課題です。冒頭、曲想で指定するように *Espressivo* を意識して歌いましょう。

★紅葉

本日、初めて楽譜が渡されました。時間の関係もあり、一度だけ、歌える人は一緒にということでピアノ伴奏つきで歌いました。瀬戸合唱フェスティバルでの演奏曲なので予習を十分おこなっておきましょう。

20:30~21:30

平成25年度総会をおこないました。

1.H25年度活動報告 2.H25年度会計報告・監査報告 3.H26年度活動計画 4.役員改選

※新役員が以下の通り選出されました。(敬称略)

団長: 合瀬弘正 副団長: 若杉佳代

技術委員長: 伊藤雅代 会計委員長: 松本恵美子

その後、パート内での互選により PL 及び PM を選びました。

◎連絡事項

1.平成26年度役割分担希望アンケートを次回の練習日に提出してください。

2.8月9日(土) 18:00~19:00 演奏会実行委員会反省会をおこないます。

3.8月23日(土) 18:00~19:00 ヴォイストレーニングを全員対象でおこないます。

以上

■練習日誌続き

>> あると*ごとう 07/28(Mon) 21:51[50]

すみません。また勝手に投稿されてしまいました。

続きです。
次週、後半は総会です。

アルトに林明子さんが再入会されました。
演奏会ではお世話になりました。これから、よろしくお願いします。

■・7月26日（土）練習日誌

>> あると*ごとう 07/28(Mon) 21:44[49]

19:00～21:00

前半は演奏会の反省と感想を述べ合いました。
神谷先生の「演奏会を終えて」を読み、改めてよい演奏会ができてよかったと実感しました。
また、早速データとアンケート集計をして頂いたので、それに目を通しました。

第2ステージの朗読にはいろいろな感想や意見が出ました。

☆おぼろ月夜

音取りをしながら歌ってみました。
今まで歌っていたアルトの音とは全く違うので、新鮮ですが難しいです。

9月21日（日曜日）の瀬戸合唱フェステバルでは

- ・ここに花を咲かせよう
- ・おぼろ月夜
- ・紅葉

の3曲を歌うことになりました。
練習回数が多くありませんので、がんばりましょう。

次週、8月2日（土曜日）は前半

■・7月20日（日）第9回演奏会

>> Sop.ユキ 07/22(Tue) 01:27[44]

第9回演奏会を無事に終えることができました。
皆さんお疲れ様でした！

先生方ご指導いただき、本当にありがとうございました。

実行委員の皆様、未熟な委員長を支えてくださりありがとうございました。

団員の皆様、あれやこれやのお願いに快く応じてくださり、ありがとうございました。

影アナの山田さん、素敵な朗読をありがとうございました。

SMの中島さん、すばらしい舞台指示の采配をありがとうございました。

S SMの小坂さん、林さん、受付係の皆さんを引っ張って、観客の皆様を出迎えていただいてありがとうございました。

調律の星野さん、DVD の鈴木さん、チラシ、パンフレットの印刷をしていただいた水谷印刷さん、受付をお手伝いいただいた瀬戸市民合唱団、瀬戸メサイア合唱団の皆さん、駐車場係の皆さん、ありがとうございました。

差し入れをいれていただいた皆さん、ありがとうございました。

記事を載せていただいた市広報、新聞社、合唱連盟などの皆さん、ありがとうございました。

そして、細かい質問を、毎回丁寧に親切に説明してくださり、リハーサルや本番当日の突然なお願いにも、ニコニコと対応していただいた瀬戸文化センター・文化ホールの職員の皆さん、ありがとうございました。

660名の観客の皆さん、楽しんでいただけましたね！整理券をご持参いただいた330名の皆さん、はがきをご持参いただいた37名の皆さん、アンケート書いていただいた291名皆さん。本当にご来場ありがとうございました。

皆さんのおかげで、無事に旭混声合唱団第9回演奏会を終えることができました。（*^▽^*）

演奏会を行うということは、本当にたくさんの人々の力で支えられているんだなあ…と、身にしみて感じます。

個人的には、ソプラノパトリ、サブ技術でありながら、今回は歌詞が頭に入る率が悪く、特に第3ステージ(～～)大好きなはずの「少年時代」や「いい日旅立ち」などは、小節ごとに接頭語を漢字で抜き出して覚え、揺れまくりの「川の流れ」は枕詞にして、それをつなげるように覚え…ええ！もちろん、楽譜には不思議なイラストを描きましたとも！…そのかいあって、本番での後悔はありませんでした(^_ ^)v

次回第10回演奏会は2年後の予定！！(◎_◎;)

まずは、「初心のうた」から頑張りましょう！

▲・（sop ちか）

ユキさん、

あなたに一番感謝です。

”肝っ玉母ちゃん”のリードはほれほれとする爽快感があり。

お疲れ様でした。ありがとうございました。

..07/23(Wed) 19:11[48]

■・7月13日（日）練習日誌

>> T.Sakai 07/14(Mon) 10:23[42]

18:00～21:30

演奏会に向けての最後の特別練習でした。

★神谷先生がお仕事の関係で遅れるとのことで、波多野ユキさんによる発声練習、須田さんによる第Ⅲステージの一部（前日のおさらい）を練習（暗譜確認も踏まえて）しました。

☆うたおうよ

☆少年時代

☆川の流れのように

★神谷先生による練習

☆川の流れのように

※室外でお聴きいただいたことによる注意事項が多々ありました。注意事項をよく確認し繰り返さないようにしましょう。

☆第一ステージ全曲を通して練習しました。

- 1.Kyrie
- 2.Gloria
- 3.Sanctus
- 4.Agnus Dei I
- 5.Agnus Dei II

全体を通して叫ばないこと。曲の内容（ミサのイメージ）を考え、他パートの旋律をよく聴きあいながらバランスを考えて歌うこと。また、指揮をよく見てフレーズの終わりの部分など気持ちをそろえて歌うように。

☆永訣の朝

今まで注意されてきたことの再確認（注意）が多くありました。感情表現が大切なだけに、改めて全体の曲想に注意を払い、しっかりと復習をしておきましょう。

何よりも悔いを残さない演奏をいたしましょう。

★連絡事項

- 1.衣装は演奏会前日のリハーサルの日を持ち込んでおいてもよいように特別に部屋を借用しておきます。
- 2.リハーサル当日には仕事が多々あります。13：00 から準備に入りますが、運営関係（実行委員会メンバー）以外の方でもご都合がつく方は早めにお集まりいただきご協力ください。
- 3.瀬戸合唱フェスティバルでの演奏曲について、候補ができました。1.心に花を咲かせよう 2.花は咲く 3.沖縄ものが上がっていますが未決定です。

以上

▲-さりげないお力添え（sop ちか）

酒井様

音源づくり、大変な作業だったと思います。
皆さん、ずいぶん助かったと声を聞きます。

ありがとうございました。

..07/23(Wed) 19:09[47]

■-7月19日（土）練習日誌

>> ベース はやし 07/21(Mon) 10:48[43]

今日は演奏会前日で、明日の準備とリハーサルでした。

○13：00 実行委員や都合のいい人が集合。

○13：15 必要な机の搬出や受付台の配置。看板の掲示。1200枚のプログラムに歌集やアンケートの挟み込み作業を行ないました。

◇15：30～18：10 リハーサル

入退場の仕方（SM の指示に従い行いました）

楽譜の持ち方、手の位置の指導も受けました。

朗読の練習もありました。

○曲の練習

第一ステージから順次練習をしましたが、これまでの神谷先生の指導内容が活かされず、残念ながらかなりご立腹な場面がありました。（もう、やめよかな一等）

練習内容を客席で聴いていた SM・SSM の方が男声とアルトの声が小さい、良かったのはソプラノだけという声

がありました。

大きなホールの舞台に慣れていないせいか、声が吸収されて一人で歌っているような感じだという男声もいました。

明日の午前中のリハーサルではしっかりやって、悔いのないよう本番で頑張ることとしました。

明日、20日は全員 9:00集合です。

頑張りましょう。！

▲-松男父さん（sop ちか）

途中からのパトリ交代、きつかったでしょう。

皆さんをよくリードされましたね。

これからは、若い力（酒井さん、渡辺さん）がきっと力になって下さることと思います。

どうぞパワーをもらってできる限り長く歌って下さい。

..07/23(Wed) 19:07[46]

■-7月12日（土）練習日誌

>> T.Sakai 07/14(Mon) 09:50[41]

19:00～21:00

神谷先生、石川先生による通常練習でした。

☆うたおうよ

※歌詞を覚えていない人が結構多いのが気になります。多分、アンコール用にとの練習ですから。

☆第Ⅲステージ+アンコールを通して練習しました。

1.見上げてごらん夜の星を

2.いい日旅立ち

3.少年時代

※To Coda ルルル～ は poco rit. （確認）

4.川の流れるように

※冒頭の男声ユニゾン 言葉としての表現を大切に。

5.糸

※男声、女性ともにリズムを正確に歌うこと。

6.心に花を咲かせよう

7.花は咲く

★連絡事項

1.ステージ衣装～男性の白カッターシャツは長袖を着用してください。

■-7月6日（日曜日）特別練習

>> あると＊ごとう 07/11(Fri) 00:15[40]

13:00～15:00

須田さんによる女声の特練。

長いフレーズを歌う練習をしました。

☆Agnus Dei II

☆Sanctus

15:00～16:00

男声も参加しての練習

第1ステージの曲

決して吠えないように、少年少女合唱団のように歌う。
他のパートが出るときは、「どうぞ」の気持ちで控える。
女声の声が残るところがあるので、注意。

第3ステージの曲

「花は咲く」
「うたおうよ」
「乾杯の歌」

時間をオーバーしての練習でした。
須田さん、ありがとうございました。お疲れ様でした。

■・7月5日（土曜日）練習日誌

>> あると＊ごとう 07/10(Thu) 23:01[39]

18:00～19:00

毛利美奈子先生によるボイストレーニング。

19:00～21:00

神谷先生、石川先生のご指導による通常練習

☆花は咲く

☆うたおうよ

☆Kyrie

最初や要所、要所、最後は顔を上げて指揮を見る。
最後の3小節は力をぬく。

☆Gloria

アルトはソプラノとシンクロするところで遅れる。
最後でやせないように。印象的に終わるように。
ソプラノ、2分音符にフレーズ感をもたせるように。

☆Sanctus

ベース、前のめりになり、転げ落ちるようになる。どんどん速くなっていってしまうので注意。

☆Agnus Dei I

アルト、遅れないように。きれぎれにならないように。

☆Agnus Dei II

あわてないように。
ソプラノセカンド、no-bis で bis が短くなるので注意。

次週 12日の練習は、第3ステージの曲です。

■6月29日（日）練習日誌

>> Sop.ユキ 06/29(Sun) 20:53[38]

★13:00～16:00

神谷先生、石川先生のご指導による特別練習でした。

☆うたおうよ

☆花は咲く

- ・出だしのフレーズの歌い方は、男声のほうが上手！
- ・最後の、「きみのために」はすごいピアノが入るので、堂々と歌うこと。

☆永訣の朝

- ・最後の「ねがうー」だけがリズムがちがうことを認識すること。
- ・「あめゆじゅ」の出方が各パート違うので、それぞれ責任を持つ。
- ・アルトの「あめゆじゅ」、最高の入りができた！！

本番に取って置いて。

神谷先生から、マドレーヌの差し入れをいただきました。ごちそうさまでした。(^。^*)
3時間の練習中、約2時間半近くは「永訣の朝」を歌い、ガッツリ歌った感が満載でした！

*連絡事項

- ・7月13日（日）の特練の時間が、18:00～22:00に変更になりました。

■6月28日（土）練習日誌

>> ベース はやし 06/29(Sun) 09:45[37]

今回の会場は中央公民館 305 音楽室でした。

19:00～21:00

神谷先生、石川先生による通常練習でした。

☆花は咲く

演奏会のアンコール曲として選んだ曲です。楽譜を持つことはできませんので、全員暗譜が必要です。

まだまだ、かなり楽譜を見ている方がいますのでもっともっと練習が必要です。

P8のGのアルトとベースが1拍遅れで入る「はな一はな一」のところを早くならないで指揮をよく見てうまく合わせること。

P10の最初ベースが二つに分かれる3拍目、バリトンの音が不安定との指摘がありました。しっかりと。

☆kyrie

17小節ベース、ゆっくりなめらかに降りる。

38小節同じくベース、レガートに、一本のラインのように歌う。

45小節から始まる kyrie eleison は、ゆっくり四分音符はしかり伸ばすこと。最後の son は全員が揃えてハニングで終わること。

☆Gloria

指揮をよく見て。36小節からはゆっくり入る。54小節からは早くなる。快活に。これらのところは特に指揮をよく見ること。

最後の2小節はクレッシェンドして終わる。

☆Sanctus

2回ほど通しましたが、時間がなくなり細かいところまで入れませんでした。

☆連絡事項

1. 7月5日(土) 18:00~19:00まで全員 対象のヴォイストレーニングがあります。

2. 演奏会当日の昼食を500円で用意できるそうです。希望者は7月5日の練習日に各PMまで申し込むこと。

■・6月21日(土) 練習日誌

>> T.Sakai 06/24(Tue) 10:18[36]

★18:00~19:00

演奏会実行委員会(第6回)を開催しました。

主な議事は以下の通りです。

1. 衣装係からの提案で、*朗読を担当してもらう方に団員と同じコサージュを付けてもらう。*団員の控室(楽屋)に、団としてハンガーを購入し利用する。
2. 打上げ係から報告で、*打上げ参加費として団員から3,000円を徴収します。*団員の昼食弁当の希望を取ります。
3. 運営からは、謝礼、諸準備への対応、受付係当日のタイムテーブル、当日雑務作業分担などが提案され検討しました。

★19:00~21:00

練習に入る前に、県合唱祭での演奏録音CDを聴きました。そして、神谷先生からは数々の問題箇所及び課題の指摘を受けました。録音を聴く限り正直に言ってお世辞にも「思ってたより良かった」の評価は見直さねばと思います。楽譜に書き込んだ注意事項を今後の練習に活かさないといけませんね。

★心に花を咲かせよう

全体に言えることですが、言葉を大切に楽譜に記載されていることに忠実に歌い表現する。自信をもって歌えるよう早く暗譜を徹底すること。

★Sanctus

★Agnus Dei I

★Agnus Dei II

*ベースは全体のバランスを考慮して音量を調節すること。*1フレーズをなめらかにうたいつなげるためにパート内での息継ぎを調整しておくこと。*各パートの出だしをはっきりと、他のパートの旋律を聴きながら歌えるようにすること。*楽譜から目を離し指揮をしっかりとみて合わせること。等、今までも言われてきたことですが、全員が徹底するようにいたしましょう。

※神谷先生から、演奏会までの今後の大まかな練習予定が話されました。演奏会まではあと1か月、成功のカギは暗譜での充実した練習がどれだけ出来るかにかかっているそうですね。

☆連絡事項

①MISSA BREVISのステージで楽譜を持つかどうか、持つとすれば、その場合は譜面台を使用するかなど、楽譜に目が注がれ指揮を見ることがおろそかになる点をどう克服するかなど検討事項が残されている。

②第2回尾張旭コーラスフェスティバルのチラシ、整理券が配布されました。(聴衆としての参加協力の要請)

以上

■-6月15日（日）愛知県合唱祭

>> Sop.ユキ 06/20(Fri) 20:14[35]

☆第53回愛知県合唱祭

稲沢市の名古屋文理大学文化フォーラム（大ホール）のHブロックで、『心に花を咲かせよう』、『いつまでもいつまでも』（全体合唱）を歌いました。

＊神谷先生から

「心に花を咲かせよう」という、言葉が聞こえない。
声が野路裏にいつてしまう。
暗譜ができているところと、できていないところがあって、ひやひやだった。

＊石川先生から

暗譜が完全ではなかったからなのか、ところどころ音楽が消極的になるところが気になった。

両先生はお知り合いの方から、「思ってたよりよかった」、「バランスはよかった」、とのお言葉をいただいたそうです。

演奏会まで、あと1か月(*_*; 頑張って暗譜します！

以上

■-6月14日（土）練習日誌

>> Sop.ユキ 06/20(Fri) 19:55[34]

★18:00～19:00

毛利和雄先生のヴォイストレーニング（男声）がありました。

★19:00～21:00

神谷先生、石川先生による通常練習でした。

☆いつまでもいつまでも

☆花は咲く

☆心に花を咲かせよう

- ・フレーズの変わり目は顔をあげること。
- ・出だしが暗いので、眉毛を3センチあげて歌うこと！

★連絡事項

- ・明日は、合唱祭です。出演者証を忘れないように。
 - ・次回のヴォイストレーニングは7月5日（土）18時～
- 対象は未定。 以上

■-6月7日（土）練習日誌

>> Sop.ユキ 06/11(Wed) 17:14[33]

★18:00～19:00

毛利美奈子先生のヴォイストレーニング（女声）がありました。

- ・『心に花を咲かせよう』、するどさがなく、あまい。
- ・aの音の口の形が全員バラバラ。fu-aの発声をする。
- ・首が詰まっていると幼稚な声になる。後ろを引っ張って声を出すとよい。
- ・ビブラートが出るのは、肩に力が入っているからなので、胸をしっかり立てて、首の後ろをきゅっと立てる。

- ・ソプラノのアニエスディの上のファは、魂を飛ばすように歌う。

★19：00～21：00

神谷先生、石川先生による通常練習でした。

☆心に花を咲かせよう』

- ・「いのちのかぎり」に安堵感を持たせる。
- ・付点リズムがあわない。
- ・「こころにはなを・・・ひっそりでいい」は、迷いのないよう、印象的に歌う。

☆花は咲く

- ・訂正ー6 p 「むくわれず泣いたりした」の「た」は、「むくわれず泣いたりして」の「て」に訂正する。

☆永訣の朝 14～ラスト

- ・egumo-は、としになりきって、深刻に。
- ・22～は、うつろすぎず、本当に分かれてしまうことを認識して。
- ・36 p 「このうつくしいゆき・・・」は、あからさまに rit. しません。

★連絡事項

- ・愛知県合唱祭の入場券を各P Lに配布。各自確認。
- ・6月14日(土) 18時～男声のヴォイストレーニングがあります。
- ・6月21日(土) 18時～演奏会実行委員会 。 以上

■-5月31日(土) 練習日誌

>> T.Sakai 06/05(Thu) 10:13[32]

★18：00～19：00

演奏会実行委員会(第5回)が開かれました。

<議題>

- 1) プログラム原稿の校正を依頼する。次回の練習日に最終意見を求めることにした。(プリント配布済み)
- 2) 渉外担当から情宣活動の現状報告がありました。特に招待者への案内、送付先について意見交換がありました。
- 3) 演奏会前日・当日のタイムスケジュール案についての意見交換をおこないました。また、当日雑務作業担当の配置、役割、準備作業などについて具体的な担当者への依頼など確認いたしました。(資料配布済み)

★19：00～21：00

神谷先生、石川先生による通常練習でした。

☆いつまでもいつまでも

県合唱祭での全員合唱曲、先週に引き続き一度通して歌いましたが、十分に歌えない人も多くいて部分的に取り出している練習を短時間でしたが行いました(特に後半)。やはり8分の6拍子のリズムに乗れないこと、8分音符の長さを意識することなど神谷先生から指摘されました。

☆少年時代

テノールのメロディー部分の歌い方について何度も注意をおけました。リズムの取り方がメンバーでそろわず、まだ尾を引きそうです。＜目が覚めて一夜の中＞など、他の部分も共通ですが難しい課題ですね。

☆川の流れるように

男声の冒頭からのメロディーの歌い方について、何度も注意を受けました。語りかける歌い方(感情表現)をとの指摘です。以前の練習でも繰り返された注意です。心して取り組みましょう。

☆心に花を咲かせよう

暗譜もかなり出来ていることもあり、かなり自信をもって歌えるようになってきたと思います。あと少しの個々人

の歌に込める気持ちが前向きに表現できるようになれば完成度は高まるでしょう。あと一歩ですね。

※神谷先生からの問いかけもあり、アンコール曲についての皆さんの意見から最終的に「花は咲く」が決まりました。演奏会では会場の皆さんと一緒に歌えるようにとの意見も出されました。

※照喜名先生（元旭混声指揮者）からの紹介で音楽事務所のマネージャーが、コンサートへの合唱団員募集の誘い掛けがありました。

●オペラ演奏会形式「万葉集」名古屋初演作品、音楽は千住明、台本は黛まどか、2014.9.13 以上

■・5月20日（日）練習日誌

>> ベース はやし 05/26(Mon) 17:00[31]

※今回の担当はテノールパートリーダーの酒井さんですが、お休みだったため繰り上げてベースの林が担当します。

19:00～21:00

神谷先生、石川先生による通常練習でした。

☆6/15の合唱祭の全員合唱曲「いつまでも・いつまでも」を一回通しました。

忘れかけており、上手く歌えませんでした。

☆見上げてごらん夜の星を

☆いい日旅立ち

☆糸

それぞれ強弱のつけ方、感情を込めて歌うこと等の注意がありました。

女声の暗譜が目立ちました。男性も見習うべきです。

☆永訣の朝

P23の21の5小節め「oraorade」から最後までを繰り返し繰り返し練習しました。

24からのアルト「方言らしく」も繰り返し練習しました。

27から入ってP41の「fff」への盛り上げを最高に持っていくように指導がありました。

また、P42の上段4小節目に入るアルトとベースのハミングはソプラノとテナーの前小節のハミングを聞いてから入ること。

そのほか細かい指導がいっぱいありましたが、書ききれません。ごめんなさい。

☆連絡事項

次回5月31日、18:00～19:00 演奏会実行委員会が開催されます。委員の方は先に配布された資料をよく検討のうえ、出席願います。

■・5月17日(土) 練習日誌

>> あると*ごとう 05/22(Thu) 17:50[30]

19:00～21:00

神谷先生、石川先生のご指導による、通常練習。

☆心に花を咲かせよう

- ・最初はしゃべるように。
- ・ソプラノ、5の2拍目の「し」をそろえるように。
- ・7の三連符、女声がそろっていない。
- ・47のベース、2分音符が短い。
- ・57～63、70 アルトは音を正確に。
- ・65のソプラノはアルトの音が聞こえるように歌う。
- ・69は一旦引いてから歌う。

- ・70の「さかせよう」はもったいぶらない。
- ・72はためず、73で入り直し、74で最大になるように、ただし、露骨にならないように。

☆永訣の朝

- ・最初、譜面を見ないで、23まで歌いました。
- 各所でフライング、出遅れがありました。
- ・2、「いんざんなくもから」の歌い方に注意。「くもから」で遅くならないように。
- ・4で陽転する。
- ・5、「とびだした」の出だしはそろえる。
- ・7、ベースのハミングの音は正しくとる。
- ・ソリの音をのばすところは、音が下がらないように。
- ・8、アルトは切実感が足りない。
- ・11、ソプラノはとてもきれい。
- ・13、21ページの終わりにハミングなると急に音がしぼむので、もっと出すように。
- ・17、アルトの音が下がるので、注意。
- ・20、Pだが、テンポは上げる。
- ・22、ベースはあわてないように、アルトはおくれないように。

先生が「永訣の朝について」というプリントを作ってくださいました。状況や解釈をよく読み、歌に反映させたいとおもいます。

連絡事項

- ・「楽楽」が発行されました。
- ・県合唱祭について。

全員合唱の「いつまでも いつまでも」の楽譜の無い方、購入はしないで、コピー楽譜で。ただし、コピー楽譜をおおっぴらにしないように。

出演者証は6月の最初の練習時に配布されます。当日くれぐれも忘れることの無いようにして下さい。

- ・渉外の打ち合わせがありました。

各公民館などにチラシを置かれます。尾張旭市の広報、7月1日号に演奏会の広告が載ります。

- ・実行委員会が5月31日にあります。

次回の練習は25日、日曜日です。お間違えのないように。

■・5月11日（日）練習日誌

>> Sop.ユキ 05/12(Mon) 16:48[29]

☆13:00～14:00

男声は須田さんが「MISSA BREVIS」を、女声はハタノが「永訣の朝」の練習をしました。

☆14:00～16:00

毛利美奈子先生のご指導による特別練習。

◎見上げてごらん夜の星を

- ・声が下向きで、音程が低いので、頭少し下に向け、体をまっすぐにして、息が通るように声を出して歌う。
- ・前半と後半に変化がない。
- ・”てをつなごう”の最初の音を出すときは、肺から息が吹き上げるように。
- ・ハミングは、色を変えないように出すことを意識する。

◎いい日旅立ち

- ・アルトとベースがよく聞こえていいね！
- ・ソプラノとテナーは、メロディに切迫感がなく、てんぼが悪い。エネルギーが同じすぎるので、どこに重心を持ってくるか意識する。全パートになるところも意識する。

◎少年時代

- ・各フレーズの入りを華やかに、びゅっとだす。おなかから、肺から湧き上がる感じで。

◎川の流れのように

- ・平板。なんとなく流れているように聞こえる。
- ・男声は、息がしっかりしていないから、体幹をしっかりさせる。
- ・女声は音の高い低いにつられて声を出していて、ママさんコーラスのように聞こえるので、音の位置を上キープして歌う。
- ・中音が、地声のようにペチャっとなっている。声を常に上からシャワーを流すように出す。

◎心に花を咲かせよう

- ・全部にわたって、直前のブレス（四分休符のところお）に色がない。次にどのように出そうとしているのか、意思を込めること。
- ・ブレス一つで、息の出し方が違ってくる。mp, f, mf などにもヒントがあるよ。
- ・” つばみ” などのリズムをそろえるには、最初の” つ” を花が開かせるように声を出す。

◎Agnus Dei II

女声だけ聞いていただきました。

☆連絡事項

- ・5月17日 18:00～渉外委員会
 - ・5月31日 18:00～演奏会実行委員会
- 以上

■・5月10日（土）練習日誌

>> ベース はやし 05/11(Sun) 11:16[28]

☆19:00～21:00

神谷先生、石川先生による通常練習でした。

◎うたおうよ（愛唱曲集）

突然「うたおうよ」を初めにやりました。発声練習の延長なのか？いつでも、どこでも「トイレの中でも」歌えるように。テンポに十分注意して、ハーモニーを意識して美しい声で歌うと良い。

◎心に花を咲かせよう

一通り歌ったあと、P6の45小節～48小節を繰り返し繰り返し練習しました。46小節からのベースのHumの音程しっかりと。10人で10通りの音がある。ウーウンと入らない。また、49小節の「ものだから」はレガートに歌う。49小節は最初に美しいピアノの音を聞いてから揃えて入る。

◎Kyrie

「ミサ・ブレヴィス」についての印刷物が配布されました。（2）のポリフォニーの歌い方をよく読むと参考になると思います。

ベース45小節から早くなるので注意。

◎永訣の朝

P23の15から練習しました。P36「このうつくしい

ゆきがきたのだ」はゆっくりと合わせる。P34日

下段23に入るところは、一旦止めて揃えて入ること。

P38の25「このふたわんを」をはっきりと。「ふたわん」「ひとわん」を繰り返し練習しました。

各パート共いろいろご指摘がありました。まだまだ歌い込みが足りず、暗譜は程遠いです。

◎連絡事項

明日、11日は特別練習があり、13:00～14:00は男女別々に、14:00～16:00は毛利美奈子先生に神谷先生編曲を中心にやってもらいます。

◎須田さんから、譜面台のある方持参をとのことでした。

◎その他

SOPの谷口さんが「草餅」をご馳走してくれました。美味しかったです。谷口さんありがとう。

■5月3日(土) 練習日誌

>> T.Sakai 05/04(Sun) 20:58[27]

☆19:00～21:00

神谷先生によるご指導でした。石川先生はお休みでした。

★心に花を咲かせよう

21小節から22小節に至るクレッシェンド、22小節の2分音符は弱くならないで「心に花を咲かせよう」に気持ちをつなげること。何といても“タイトルですよ”との注意がありました。6月の県合唱祭で歌う曲でもあり、また、私たちの演奏会最後を飾る曲でもあり、早く暗譜で歌えるようにしっかりと練習して練習日に臨みましょう。

★Agnus Dei I

★Agnus Dei II

Sop I と Sop II の「コピーによる、つながりの歌い方は別途練習の機会を持つのがいいかも。」とのお話でした。

★Sanctus

4月29日、毛利先生のご指導の成果をとということで3曲の練習をしました。まだ暗譜が不十分で楽譜に目が向いていることもあり、音が下がったりテンポが遅れ気味になったり、出トチリを注意されたり、指揮者の「見て見て」の声もたびたび、神谷先生の期待（もう暗譜の練習が出来ていないと！）に、私たちが真剣に取り組んでいるかどうか、考えないといけませんね。

☆連絡事項

特にありませんでした。

◎男性、女性とも、演奏会の衣装の一部が衣装係の方から、それぞれ配布されました。

■4月29日(火) 練習日誌

>> あると*ごとう 05/03(Sat) 00:09[26]

☆13:00～16:00

毛利美奈子先生、須田さんの指導による特別練習。

まずは体をほぐし、楽器としての体作りからスタートです。

「Agnus Dei I」

一度歌って、各パートの問題箇所を重点的に指導していただきました。

問題箇所を少しずつ修正してもらいました。

どのように歌ったときが良かったのかを覚えておき、次に実践できればいいのですが・・・。

「Agnus Dei II」

・ソプラノ1, 2の最初の音は上げていくように。音をふくらませていくと、下がることもなくなる。

- ・アルトはもたつき、遅れるので常に隣の人より先に声を出す、ように。
- ・テナーはキラキラとした音を。
- ・ベースは出だしの声をひっかけないように、「quitollis」から「pecata～」に入るときは言い直す。

「Gloria」

- ・アルトは「wa」で歌った体を使って、歌う。やはり遅れるので、隣の人より先に、を心がける。

「永訣の朝」

ピアノの伴奏のない部分を練習しました。

「あめゆじゅ」の「あ」の声の出し方、「とてちて」をそろえる練習をしました。

1 7、男声は速くならないように、アルトは前のめりにならないように。下がらないように。

2 2、「わかれて」の「わ」をそろえる。

アルトは重量感をもたせる。

三声で入る「わたくしの」の「わ」をきちんとそろえる。

「あんなおそろしい～」は歌うのではなく、音を出す気持ちで。

演奏会でプログラムと一緒に配布する歌詞をプリントしたものを、配っていただきました。暗譜の練習に、各自工夫して活用してください。

■4月26日（土）練習日誌

>> Sop.ユキ 04/28(Mon) 01:36[25]

☆19:00～21:00

神谷先生、石川先生による通常練習でした。

◎いい日旅立ち

せめてきょうから・・・のところは言葉もぎこちなく、アの母音が汚いうえに、リーから、たびにでる一への入りが上手ではない。

ゆうやけを・・・のところは、ソプラノが原付バイクでエッチラホッチラ上っているように聞こえるので、3000 c cでラクラクと上ってほしいねと。

最後のルルルは鳴らす。

◎心に花を咲かせよう

そろそろ暗譜してねーの言葉にドキッ！

付点のリズムが甘いので、丁寧にはっきりと歌う。

8pのはなをー とのぼすPは、どこにいったの～というくらいすぐにガクンと落とす。

9pのはなをー は、一端おさえて、もったいつけてから f f に向かって歌う。神谷先生が歌ってくださり、「おっ(^ ^♪)」と納得。

テナー、5pのしあわせは一の音に注意。

ベース9pのu hーの音をしっかりとって、その先、堂々と歌う。

最後8拍のばしながら、どんどんc r e. で歌い上げ・・・感動のフィナーレで終わる！！ 当日が楽しみです。
(途中で息が切れるのが悩みの種～(*_*)

◎永訣の朝

前半15まで歌いました。

相変わらずのソプラノ、6pみぞれは一を伸ばしているうちにヒューッと下がっていくようで～ 早くも、その音が下がっていることが判明。

12pのそうえんいろー のppは、もっともとおさえ、女声の各ソリはポンと入ること。

びちょびちょー は大きすぎず、しずんできるとはしっかりと。

20 p のいもうとのい は、全パートそろえて。

2 2 p あめゆじゅーは、もっと絡まった感じが出るといい。

☆21 : 00~22 : 00

アルトパート練習。石川先生のご指導で、「永訣の朝」。

☆連絡事項

- ・今日、瀬戸メサイアさんの演奏会パンフレットにチラシを挟んできました。
- ・特練 4月29日(火) 13時~16時 前半2時間は毛利先生のご指導で、アカペラを。後半は永訣の朝のアカペラ(7, 11, 22, 26, 33 p 暗譜)を練習します。
- ・特練 5月11日(日) 13時~16時 後半2時間を毛利先生にご指導いただきます。 以上

■4月19日(土) 練習日誌

>> ベース はやし 04/20(Sun) 10:59[24]

☆19:00~21:00

神谷先生、石川先生による通常練習でした。

◎心に花を咲かせよう

ひとつとおり通したあと、要所要所で注意がありました。出だしの「きょうをのを」「あいのはのは」は押さないで軽く。ベースの11小節から入り12小節のクレッシェンドが足りない。13小節に力強く入るためにしっかり延ばすこと。

全体に35小節から39小節はゆっくりと、指揮をよく見て。ベース67小節のuh、しっかり音をとること。

◎少年時代

ひとつとおり通したあと、リズムよく歌うこと。ベース32小節からのルーは、ルー、ルー、アクセントをつけてゆっくり歌うこと。

◎川の流れるように

これもひとつとおり通しました。かなり暗譜が進んでいるようでした。

◎永訣の朝

もうほぼ暗譜ができていると思いますがと言われましたが、実態はまだまだダメです。テンポが早くなったり遅くなったりが激しいのでよく指揮を見て、勝手に歌わないようにと再三指導がありました。特に30ページ20番からの掛け合いがうまく合わず、ここは本当に難しいです。しっかり練習をしましょう。22番のベース「ほんとうに〜」はゆっくり、勝手に歌わないこと。35ページ下段「あんなおそろしい〜」もアルトとよく合わせて歌うこと。

◎終了後、演奏会実行委員会と演奏会打上げ準備委員会の打ち合わせがありました。

◎特別練習、来る5月5日(月) 13時~15時

須田さんをお願いしてベースの特別練習を行うことを決めました。

■4月12日(土) 練習日誌

>> T. S a k a i 04/13(Sun) 10:45[23]

★18:00~19:00

演奏会実行委員会が開かれました。

①演奏会でのステージ衣装の検討 ②プログラムの装丁レイアウトの確認と決定、第Ⅲステージのタイトルの検討、アンケートの内容案提示(詳細を次回に検討する) ③演奏会終了後の打ち上げ会場等 ④「永訣の朝」ステージでの朗読について(朗読:山田由以子さん) 決定 ⑤指導者への謝礼検討(特練対応)など。

★19：00～21：00

神谷先生、石川先生での久しぶりの練習でした。

◎心に花を咲かせよう

演奏会最後の曲です。初めからあまり頑張らないで体力を温存させましょう。前半はフレーズとしての言葉を大切に、後半への盛り上がりを意識して歌いこみましょう。

Un poco meno mosso 「しあわせはじぶんでつくるものだから」(35～40小節) 「いのちってうけつがれていくものだから」(45～49小節) の歌い方を特に重点的に指導されました。

◎永訣の朝

冒頭から最後まで通しての練習を行いました。テンポの変化、強弱の変化など、言葉のニュアンスからくる感情移入をうまく表現することの大切さを指摘されました。

それにしても、こうした全曲を通して変化の激しい曲では、言葉を正しく理解するとともに、暗譜を早く行い指揮に集中する態勢が求められていると思います。

★連絡事項

- 1.技術委員長から、今後の練習に関するスケジュール表が配布されました。
- 2.次回の練習後、演奏会実行委員会をおこないます。
- 3.ベースに一人見学者が見えました。(渡辺さん)
- 4.副団長から、先週の見学者(S) 若尾さん、本日の見学者(B) 渡辺さんが入団されることが決まったこと。演奏会間近での事情を考慮して正式入団は8月にしたいとの発言がありました。

■4月5日(土) 練習日誌

>> あると*ごとう 04/07(Mon) 23:10[22]

18：00～19：00

渉外委員会 打ち合わせ

19：00～21：00 通常練習

神谷先生がお休みのため、石川先生にご指導いただきました。

発声練習は須田さんにしていただきました。久しぶりにハモリ練習をしました。

「永訣の朝」

ある程度歌えるようになったら、楽譜は自分のパートではなく、他のパートや、ピアノの伴奏部分を見て聞いて自分のパートを歌えるようにする練習をしましょう。

- ・6ページ上段、の *agitato* を意識するように。
- ・7ページ下段から、8ページにかけての各パートのつながりを大切にする。「とてちて」をリズムを正しくする。
- ・練習番号4からは、音にスピード感をもたせて、キビキビとした歌い方をする。
- ・練習番号6はテンポをおとす。
- ・20ページ下段はどんどん速く、21ページ上段の練習番号13からは、それまでの興奮をおさめるようにする。
- ・13はそれぞれのパートが気持ちよく歌っているが、バラバラなので気をつける。
- ・14はそれぞれのパートをよく聞き、あわてないように。
- ・16の最後は、減速となる。
- ・18は遅れないように。
- ・20はテンポは変わらないので、遅くならないように。

全曲4つのブロックに分け、最初はソプラノ、次のブロックはアルト、次はテナーが楽譜を見ないで歌う練習をしました。ベースは時間切れでできませんでした。

連絡事項

- ・次週、12日に実行委員会が18時よりあります。

見学の方がみえました。

若尾紀子さんです。女声合唱団での合唱経験があり、ソプラノに入団されます。

■・3月30日（日）練習日誌

>> Sop.ユキ 04/01(Tue) 14:25[21]

13:00～16:00 特別練習

発声を須田さんに、石川先生に神谷先生の日本の曲をステージ本番で歌う順にご指導していただきました。

1. 見上げてごらん夜の星を

→だんだん遅くなるので、どんどん前へ歌っていきましょう。

2. いい日旅立ち

→今日の各パートの分量を考えて。ソプラノが強いので、メロディーを歌っているパートを聞くこと。

3. 少年時代

→鼻濁音ができてなくて汚いので注意する。

終わる音の「い」「え」の母音がきつすぎる。

4. 川の流れるように

→メロディーじゃない音がもうすこしうたえるといい。

かれた老人が歌っているように聞こえる。

5. 糸

→「(た) てのいと」 「(よ) このいとー」は、「た」や「よ」が強すぎるので、後を意識して歌う。

6. 心に花を咲かせよう。

☆連絡事項

- ・特練 6月29日（日）13時～16時 石川先生のご指導
- ・特練 7月13日（日）13時～16時 神谷先生のご指導

- ・今年度の総会は、演奏会後に行います。 以上

■・3月29日（土）練習日誌

>> ベース はやし 04/01(Tue) 11:37[20]

☆今回は2週お休みされた神谷先生にご指導いただきました。

学校の仕事が多忙な上、風邪をひかれて当日もマスクをされたままでの指導でした。

1. 発声練習

音程が上がりきらないところが多々あり、体がこわい、口・舌がうまく回らないとのご指導があり、舌をグルグル回すこと、体をほぐしことは各自自宅でやってから練習に臨むようにとご叱声をいただきました。各自心して取り組んでください。

2. 練習曲等

①Kyrie

全体的に走り過ぎる。とくにベースは勝手に動くので指揮をよくみてほしい。声量も本日のメンバー（10人）なら1/3で良い。抑えてゆっくり確実に歌うこと。

②Sanctus

スタートは物静かに、各パートの流れをよく聞いて各パートとも声を一本に揃えてゆっくりなめらかに歌う。

特にベースは38小節から41小節のところはレガートに一本のラインのように歌うこと。

56小節から最後はアルト、テナー、ベースが声を揃えて、最終は控えめにsonのn口はハニングで終わること。

また、アルトの方見て「顔を上げて、顔を上げて」と何回も指摘されました。アルトばかりではないと思いますが、お互いに注意しましょう。

③心の花を咲かせよう

大分歌えるようになりましたが、ベース36小節と46小節のHumの音をしっかりつかみ36と46小節の半音下を確実に取ること。

三曲ともそれぞれ細かい注意がありましたが、全部書ききれません。

☆連絡事項

4/12(土) 18:00から演奏会実行委員会が開催されます。委員の方はご出席を。

☆退団あいさつ

早澤信昭さんが、本日限りで退団するとのご挨拶がありました。

7月20日の演奏会には聴きにきていただけるそうですが、打ち上げで美味しいビールが飲めるよう頑張ってくださいとのことでした。

「長い間ありがとうございました。」

■・3月23日(日) 練習日誌

>> T. Sakai 03/30(Sun) 18:56[19]

★19:00~21:00

神谷先生がお休みのため石川先生にご指導いただきました。

本日は第Ⅲステージの全曲について通し練習を試みました。まだ、曲順が決まっていないので暫定的に「いい日旅立ち」「少年時代」「見上げてごらん夜の星を」「糸」「川の流れるように」「心に花を咲かせよう」の曲順が石川先生から提案されました。とても良い曲順の案だと思いました。

特に歌っていくうえで、現時点での各パートの課題があれば確認し歌い通した練習でした。およそ25分でした。

■・3月15日(土) 練習日誌

>> あると*ごとう 03/19(Wed) 22:06[18]

☆18:00~19:00 ボイストレーニング

ベース、アルトを対象にした毛利美奈子先生によるボイストレーニングがありました。

前半はたつぷりと発声の練習を、後半は「Sanctus」を練習しました。

☆19:00~21:00 通常練習

神谷先生がお休みのため、石川先生にご指導いただきました。

「永訣の朝」を楽譜に書かれているテンポを改めて確認しながら、練習をしました。

伴奏のピアノの音を注意深くきいていないと、ずれていってしまいます。

もう楽譜から離れないといけないのですが、中々できないです。

連絡事項

- ・次回は23日、日曜日です。まちがいのないように。
- ・今年の「瀬戸合唱フェスティバル」は9月21日(日曜日)。30周年の記念祝賀会があるそうです。
- ・広報が発行されています。
- ・入場整理券が当初の予定より早く今月末にできあがります。配布も早くなります。
- ・4月5日、渉外の係りのミーティングがあります。

■-3月8日(土) 練習日誌

>> Sop.ユキ 03/10(Mon) 23:42[17]

★19:00~21:00 通常練習

神谷先生、石川先生にご指導いただきました。

◎心に花を咲かせよう

- ・決して重くなく、音符におもりを入れないように。
- ・「えがおで〜」は顔で歌う。
- ・5小節の dim. は、次を期待させるように。
- ・曲想は、9小節は明るく、11小節からちょっともやっとしたように。14小節目で解決する。
- ・11小節〜女声はもたもたせずにリズムにのる。
- ・12小節はのびしながら、次へのアプローチを感じるように歌う。
- ・14小節は四分休符で顔をつくって入る。
- ・17小節〜sop. 歌いすぎない。顔と目で歌う。

全パート、付点のリズムを丁寧に。一人も間違えないようにそろえる。

cre.のつけかたを確認。

- ・37小節〜響きをつくって。ここの cre.dim. はものすごく大切。
- ・「つくる」は、不安に陥れるような音になっているので、緊張感をもって出す。

◎永訣の朝

練習番号22からラストまでを練習しました。

- ・36p 「このうつくしい〜」はあわてないこと。
- ・25は、24より速くなる。速さ54くらい。
- ・41p sop. 「ねがう〜」の音に注意する。

★連絡事項

- ・3月15日(土) 18:00~19:00 ヴォイストレーニング Alt と Bass
- ・6月15日(日) 稲沢で、愛知県合唱祭。大ホールのHブロックにエントリーの予定。 以上。

■-3月2日(日) 練習日誌

>> ベースはやし 03/03(Mon) 11:34[16]

☆18:00~19:00

毛利美奈子先生による Sop と Ten のヴォイトレ。

☆19:00~21:00

神谷先生はお休み。

石川先生による「暗譜のために、ひたすら歌う」で

◎心に花を咲かせようを約1時間、◎川の流れのよう にを1時間、各パートとも繰り返し、繰り返し歌いほ ぼ暗譜ができた状態になりました。

前列、後列交互に楽譜をはづして徹底的にやりました。久し振りに楽しい練習でした。石川先生に感謝。
(時間がたっても忘れないように)

☆連絡事項

3月15日(土) 18:00~19:00

Alt と Bas ヴォイストレーニングがあります。

■-2月22日(土) 練習日誌

>> T.Sakai 03/02(Sun) 09:58[15]

★18:00~19:00 (毛利美奈子先生によるヴォイトレ)

全パート対象で行われました。「Sanctus」を用いての発声指導中心で、各パートについてご指導いただきました。特に歌いだしの発声・子音処理、響きの持続、パートでの音色の統一など。

★19：00～21：00（神谷先生による練習）

◎心に花を咲かせよう

先週の練習で音取り・歌詞付けができていたこともあり割と、皆さん歌えたようでした。何か所かパートを取り出しての練習がありましたが、1番～2番を通して歌いきることができました。皆さんの表情から好感をもってこの曲がとらえられているなと感じました。

※1か所、次のように音の変更が指示されました。

2番の歌詞の冒頭（全パート※2番のみについて）

（あいは一たがいに）→（ファミファーファソソラ）に修正します。

◎永訣の朝

練習番号15から21までを重点的に練習しました。「暗記ですよ」の一言は、心して早く取り組まないといけませんね。かなりの練習量を持ちましたし、指揮者としての仕上げ練習への障害になりかねません。頑張りましょう。

★連絡事項

ヴォイストレーニング日程は以下の通りです。

3月2日（日）18：00～19：00 Sop と Ten

3月15日（土）18：00～19：00 Alt と Bas

■-2月16日（日）練習日誌

>> あると＊ごとう 02/18(Tue) 22:28[14]

13：00～16：00 特別練習

最初の1時間は男声、女声に分かれて「心に花を咲かせよう」の音取り練習をしました。

アルトは高音が出ないので大苦戦、大事な主旋律なので今後パート練習をしていきます。

アカペラ曲の練習を須田さんに指導していただきました。

パート毎に声を統一する練習で、パート毎に円をつくりお互いの声を聞きながら合わせるようにしました。

今後、アカペラ曲の練習をするときは、場所を一定にしないで、違った場所でするようにしましょう。お互いの声を聞き、合わせるように心がけることがアカペラ曲には大切なことです。

「Kyrie」と「Agnus Dei」を練習しましたが、すぐに忘れてしまうので、また度々こういう練習の機会が必要なのではと思いました。

■-2月15日（土）練習日誌

>> あると＊ごとう 02/18(Tue) 21:46[13]

18：00～19：00 実行委員会

19：00～21：00 通常練習

神谷先生がお休みのため、前半は男声と女声に分かれて「心に花を咲かせよう」の音取りをしました。

男声は石川先生、女声は須田さんにご指導いただきました。

後半は全員で石川先生のご指導で音取り練習をしました。

連絡事項

次週、22日は全員を対象にしたヴォイストレーニングがあります。

実行委員会より

今回の演奏会はチラシとともに整理券を配布します。

1人20～25枚ほどの割り当てがあります。5月末にできあがる予定です。

「楽楽」2月号が発行されました。

■2月1日（土）練習日誌

>> Sop.ユキ 02/05(Wed) 00:02[12]

★18:00～19:00 アルトパート練習（アカペラ中心）。

★19:00～21:00 通常練習

神谷先生にご指導いただきました。石川先生はお休みでした。

1. 「初心のうた～2. 自由さのため」

・最後まで音取り。

2. 「いい日旅立ち」

・51小節 dim.する。

・27小節 さよならと～の「と」を全パート合わせる。

3. 「川の流れるように」

・母音が暗い。明るく歌う。

・ばさばさきらないように、つなげて歌う。

・A 32小節 向かうように歌うこと。

・S 41小節 音下がらないこと。「だ」をひかない。

☆連絡事項

・来週2月8日18時から演奏会実行委員会を行います。

・アルトに見学者がありました。日比野ゆきこさん。お仲間になっていただけるといいですね。

以上

■1月25日（土）練習日誌

>> B 隠居 01/27(Mon) 18:49[10]

神谷先生と石川先生による練習

1 いい日旅立ち

・1 T ゆきどけの「け」 まちかの「の」が強くな りすぎる

S 同じ部分 Cの音 下がる 毎回指摘される

A Hmの入り Aの音が取れていない

・2 T かえらぬ の所ハネてしまう つなげるように

あついむねの「むね」バラバラにしない

・4 S, T さがし の「が」は鼻濁音にする

・5 50小節 ルルルの三連符 A, B ピアノ伴奏と

リズムが合わない

57小節 B Dの音が取れない

58小節と59小節の間 完全に「マ」を作る

2 永訣の朝

・4 以降を中心に練習

・5 全パート 「わたくしは」の入りを合わせる

・(10) こんな さっぱりした ゆきのひとわんを は次 のフォルティッシモのおまえは一 つなげていく

・とし子の「し」は無声音

・(11)のAdagio はかなりゆっくりした感じになる

con moto ha 動きを感じさせる T B cresc

decresc をもっと鮮明に

- ・(13)S Ahの部分 急にしぼんで聞こえなくなる
- ・(14)S A あめゆじゅが2回繰り返される部分 cresc decresc を意識して歌う

3その他

- ・ベースの酒井さんが4年間の単身赴任を終えてカムバック 大歓迎
 - ・若杉さんから3月1日の歓送迎会は18時から尾張旭の
スカイワードで開催する旨報告された
詳細は追って通知される
- 以 上

■1月18日(土)練習日誌

>> T.Sakai 01/19(Sun) 17:24[9]

★18:00~19:00

毛利美奈子先生によるヴォイストレーニングでした。今回は全団員を対象にして行われ、前半は発声の基本、後半は「MISSA BREVIS Kyrie」を使つての発音(子音と母音)発声の仕方等を指導していただきました。

★19:00~21:00

神谷先生による練習(石川先生はお休みでした)

○始めに、おさらいとして「FURUSATO」を一度ですが歌いました。

○少年時代

音程の確認や修正の他、23小節の練習記号Cに入る前は“poco rit”をする。18小節のテノールは“まどをとじて”てゝが弱くならないで、Sopパート“よびかけたままで”につなげる。「くりかえし」での音程の取り方の練習など、他のパートを聴きながらアンサンブルを心がける等の注意がありました。

○「初心のうた~2.自由さのため」

先週に引き続きの練習でしたが、冒頭から練習記号Dまでを重点に行われました。まだ、音取りの段階といったところですが。練習記号E以降も少し入りましたが、次回の練習からでしょうか。途中でストップでした。

○永訣の朝

おさらい、確認の感でしたが、神谷先生は仕上げへの段階との位置づけのはず。冒頭から練習番号10までをかなり細かい注意/指摘を受けました。

★連絡事項

1.2月16日(日)13:00~16:00 全体での特別練習を実施します。

2月1日(土)18:00~19:00 女声対象の毛利先生によるヴォイストレーニングを行います。

※2月22日(土)ヴォイストレーニングを予定するも対象パート、内容等は未定です。

2.パート練習を2月~3月に重点的に自主活動としてパートリーダーを中心に実施してください。練習日の前後を活用して。2月は、パレストリーナ“MISSA BREVIS”を、3月は、ピアノ伴奏つき、神谷先生編曲(新曲・心に花を咲かせよう)をおこなってください。

参考:「心に花を咲かせよう」Youtube ウェブサイトに
山田和樹指揮:ハルモニア アンサンブルの演奏があります。

3.旭混声演奏会のチラシができました。

4.水谷彰宏サロンコンサート(「3月16日)案内

■1月11日(土)練習日誌

>> あると*ごとう 01/15(Wed) 17:51[8]

19:00~21:00 通常練習

神谷先生と石川先生にご指導いただきました。

「初心のうた」

1 初心のうた、3とむらいのあとは の2曲は復習の音取り。

2 自由さのため A～D までをざっと音取りをしました。

「永訣の朝」

2 4～最後まで

- ・ 2 4 楽譜どおりの速さよりは、少し速く歌う。
ゆっくり、落ち着いて歌う。
- ・ 2 5 「おまえが～」は音を切らないように。
「このふたわん」のKとFの音をはっきり言う。
- ・ 2 6 せき込むように。
「てんのじきにかわって」はしっかり音を残すように。「やがては」はそろえてきれいに。
- ・ 2 7 決然と歌う。
4 1 ページ下段、ソプラノの「ねがう」の「ね」を
正しい音で覚えるように。
最後は、自然に消えるように。無理に息つぎをしたり、止めるようにしない。

連絡事項

次週のボイトレは全員を対象に、アカペラ曲を練習します。楽譜を用意してきてください。

1 月 1 7 日（金）PM 4 時から、演奏会のビラの挟み込みを渉外の係りを中心に行います。
手伝いができる方、お願いします。